

## 日本英学史学会 中国・四国支部

### 令和5年度 第2回（通算88回）研究例会のご案内

令和5年度第2回（通算第88回）支部研究例会は、広島県庄原市にて対面で開催します。皆様ふるってご参加くださいますよう、よろしく願いいたします。研究例会のあとには、懇親忘年会を予定しております。こちらの方へも多数のご参加をお待ちしております。

日時： 2023年12月9日（土） 13:00 受付開始
会場： 庄原グランドホテル 広島県庄原市西本町2丁目16-5 電話 0824-72-6789 <a href="http://www.shobara-gh.com/">http://www.shobara-gh.com/</a>
参加費： 会員、非会員とも無料

開会行事（14:00～14:05） 支部長挨拶

研究発表（14:05～15:15）

#### 「佐川春水の英訳 一虚子の俳句一」

森 悟（日本英学史学会・日本英語教育史学会会員）

【概要】俳人としても著名な佐川春水は高浜虚子に心酔しており、島根大学の文理学部で英作文を教える際にも虚子の俳句を教材として活用していった。

春水が残した英作文の講義ノートには虚子の英訳が合計10句収められているが、そのうち4句は『日本英語教育史研究』第38号で報告をしている。そこで今回は春水が詠んだ俳句にも触れながら、未発表の6句を紹介したいと考えている。

研究発表（15:30～16:40）

#### 「森 修一（庄原出身）の独案内に見る明治期の英語学習法：

#### 林 十次郎（広島県土族）の独習書との比較を試みて」

馬本 勉（県立広島大学）

【概要】明治期に短期間存立した庄原英学校では、アメリカの小学生用読本 *New National Readers* が英語教科書として用いられた。当時、その教科書ガイドとも呼べる「独案内」が多数出版されたが、その一つが庄原出身の森 修一（1861-1931）によるものであった。本発表では、同時期に出版された林十次郎（広島県土族）による英語独習書との比較を通じ、森の独案内の特徴を浮き彫りにするとともに、明治期の英語学習法の一部を明らかにしていきたい。

閉会行事（16:45～16:50） 副支部長挨拶

庄原英学校関係資料・史跡見学（17:00～18:00）

庄原市田園文化センター（17:00～17:30）、庄原英学校址ほか（17:30～18:00）

忘年懇親会（18:00～20:00） 庄原グランドホテルにて対面開催（会費 6,500 円）

◆庄原グランドホテルへのアクセス

自家用車をご利用の場合，庄原インターチェンジから約 10 分  
（アクセス） <http://www.shobara-gh.com/access/index.html>

高速バスをご利用の場合，広島駅・広島バスセンターから，約 2 時間（運賃 2,020 円）  
（時刻表） <https://bihoku.co.jp/about/highway-bus/>

※庄原駅から会場までは送迎を予定しています。

日本英学史学会中国・四国支部事務局  
〒727-0023 広島県庄原市七塚町 5562  
県立広島大学 生物資源科学部 英語研究室内  
ウェブサイト <http://tom.edisc.jp/eigaku/>  
電子メール [eigaku.chushi@gmail.com](mailto:eigaku.chushi@gmail.com)